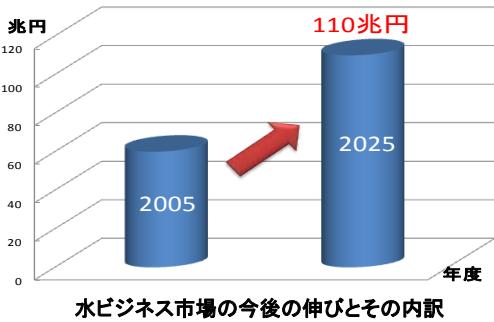


海外における水環境ビジネスの展開

環境省 水・大気環境局 水環境課

背景

- 水ビジネス市場は2025年には110兆円へ成長見込み(うち約4割がアジア)
- 世界人口 67億人のうち、9億人(うちアジア 5億人)が安全な水を、26億人(うちアジア 19億人)は衛生設備を利用できない状況



水ビジネス市場の今後の伸びとその内訳

市場規模予想 (2025)	分野
100兆円	公共事業 水インフラ 管理運営
10兆円	施設建設
1兆円	機器、素材、膜

グローバルウォータージャーナル吉村氏の資料を環境省にて一部加工

日本の要素技術(機器・素材)は高い技術力を有しているが、当該分野は1兆円市場

「110兆円」市場への参入に向けた課題と戦略

- 課題**
- 日本では管理運営は公共部門が実施
民間部門に管理運営のノウハウ蓄積が少ない
 - 諸外国が提示する入札参加資格がない

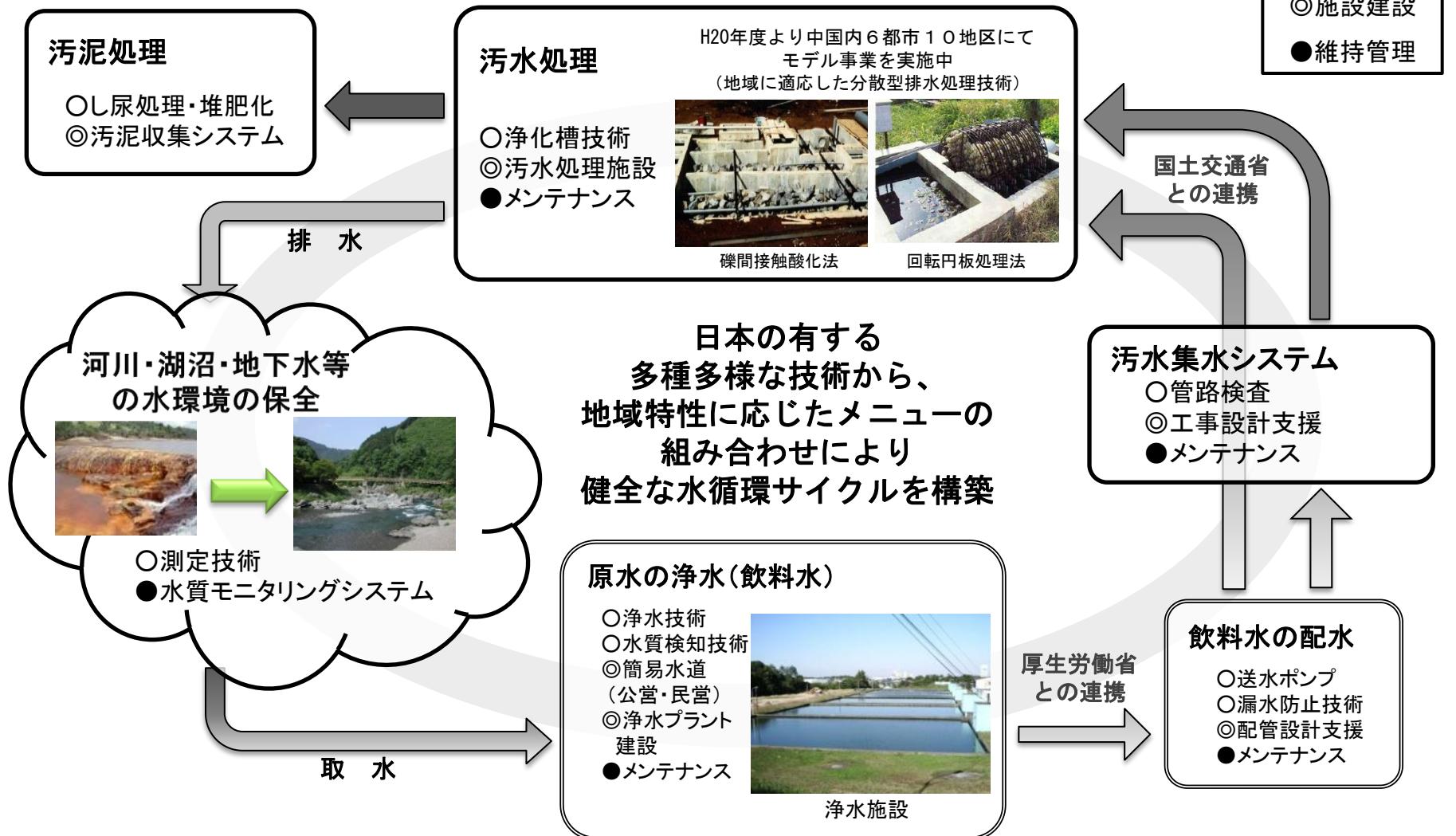
- 戦略**
- 水道事業と汚水処理事業の組み合わせにより、システム全体としての水循環の改善と効率的な料金回収が期待される。

→ 「日本型ビジネスモデル」の構築へ

具体的施策

- 原水の浄水から汚水・污泥処理までの各段階で、企画・計画から運営・維持管理を一体化したビジネス展開を目指し、アジアの地方中小都市で政府間合意に基づくモデル事業を実施

原水から汚水・污泥処理までの技術・施設をパッケージ化 (イメージ)



※各段階で、企画・計画から○要素技術の導入◎施設の設計・施工●運営・維持管理までを一体化

- 現地適応型技術の開発、維持管理を行うコンサルタント及び現地技術者の育成を併せて実施

- 環境省の「環境経済成長ビジョン～チャレンジ25を通じた経済成長～」(H22.4)の重点プロジェクトに位置付け(<http://www.env.go.jp/guide/info/eeg-vision/index.html>)